



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会 会報

1984—II

5月

1984年第2回理事会

日 時：4月16日(月) 3:00 pm

場 所：日本歯科大学第1会議室

出席者：須賀会長、小椋副会長、田熊、森、三浦、吉田、小沢、小林各理事、常光事務局長

I. 第62回 IADR ダラス大会の理事会について

3月12日と13日の両日、ダラス市の Holiday Inn にて理事会が開催され、JADR より須賀会長、三浦次期会長と常光事務局長が出席した。理事会の討議内容と1983年の会計決算書、1984年の予算案の詳細は後日発行される IADR Reports ならびに J.Dent.Res. に掲載される予定なので、主な要点のみを記載するにとどめる。

① 1984～1985年の IADR 本部新役員とその所属機関は次の通りである。

President

A. RICHARD TEN CATE

Faculty of Dentistry

University of Toronto

124 Edward Street

Toronto, Ontario, Canada M5G 1G6

President-elect

PAUL GOLDBABER

Harvard School of Dental Medicine

188 Longwood Avenue

Boston, Massachusetts 02115, USA

Immediate Past President

ROBERT M. FRANK
Faculté de Chirurgie Dentaire
1, place de l'Hôpital
67000 Strasbourg, France

Vice-president

IVAR A. MJÖR
NIOM
Forskningsveien 1
Oslo 3, Norway

Executive Director

JOHN A. GRAY
International Association for
Dental Research
734 15th Street, NW, Suite #809
Washington, DC 20005, USA

Editor

COLIN DAWES
Department of Oral Biology
Faculty of Dentistry
University of Manitoba
780 Bannatyne Avenue
Winnipeg, Manitoba
Canada R3E 0W3

② ごく最近、ワシントン本部ではコンピューターを購入して、事務の能率を高めた結果、人件費が節約され、財政事情が好転し、現在、健全な財政運営になりつつある旨の報告があった。

③ ダラス大会の演題総数は申込み演題の7%が reject され、結局1569題となった。ちなみに日本の研究機関よりの発表が21題、日本人で海外の研究機関に留学し、その外国人と共同研究者としての発表が68題、日本と海外の研究機関との共同研究発表が12題であった。なお本大会に約 100名の日本人が参加した。

④ J. Dent. Res. へ原稿を提出してから印刷されるまでの期間は

原稿の reject 1.8±0.8 (標準偏差) カ月

accept 4.2±1.6 カ月

publish 3.4±0.8 カ月

となっており、原稿を提出してから印刷されるまでの月数は平均して約 9.4カ月かかっているとのことである。

⑤ IADR の会員総数は1984年1月31日現在6633名で、そのうち AADR の会員が約半数を占めており、わが JADR の会員からは 580名が IADR の会員となっており世界第2位である。

⑥ アルゼンチン Section を Division にすることが正式に承認された。今後、各 Section の Division への昇格にはその Section の過去5年間の dental research の activity を勘案して決めるように会則 Article IVの一部が修正された。

⑦ 現行の会則では会員30名以上で1つのグループを結成できるようになっているが、30名を割った場合の規則がないので、今後30名の会員数を割った場合はそのグループを解散させることができるように Article Vの一部が改正された。

⑧ ワシントン本部より IADR 全会員に1984年1月16日締切で意見を求められた次の2件

C1. Two-year, staggered terms for at-large Board of Directors Members.

C2. The Executive Director also serving as Secretary.

は賛成多数であった旨の報告があり、理事会もこの2件の改正を了承した。

II. 第32回JADR大会の開催日の変更について

第32回 JADR 大会は昭和59年11月23日と24日の両日、新潟大学で行われる予定であることを既に会報(1984年1月号)で通知しましたが、都合により11月16日(金)と17日(土)の2日間、新潟市の新潟郵便貯金会館で開催されることに変更されました。演題申込締切は8月25日(土)の予定で、学会運営の詳細は学会長の小沢英浩教授より、後日、全会員に通知される筈です。

III. 東京医科歯科大学歯学部歯科矯正学講座の三浦不二夫教授は日本人として初めて、米国歯科矯正学会賞のなかの International Orthodontic Teachers and Research Award を受賞され、5月13日(日)第84回米国歯科矯正学会総会で授賞式が行われる。会員一同心からお慶び申し上げる次第です。

IV. JADR年度会費の納入状況について

本年度会費の納入締切りは4月30日でしたが、現在、会員数693名のなかで未納入者は、まだ257名(37%)あり、事務局は大変困っております。学会運営が円滑に行われます

ように、未納入の先生方は、至急、下記口座へお納め下さいますよう重ねて
お願いいたします。

記

銀行口座：住友銀行豊中支店

普通預金 No909323

国際歯科研究学会日本部会

事務局長 常光 旭

(文責 常光事務局長)

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒565 大阪府吹田市山田丘 1 - 8

大阪大学歯学部予防歯科学講座内

電話 (06) 876-5711 内線2281